

救急クイズ

答えと解説

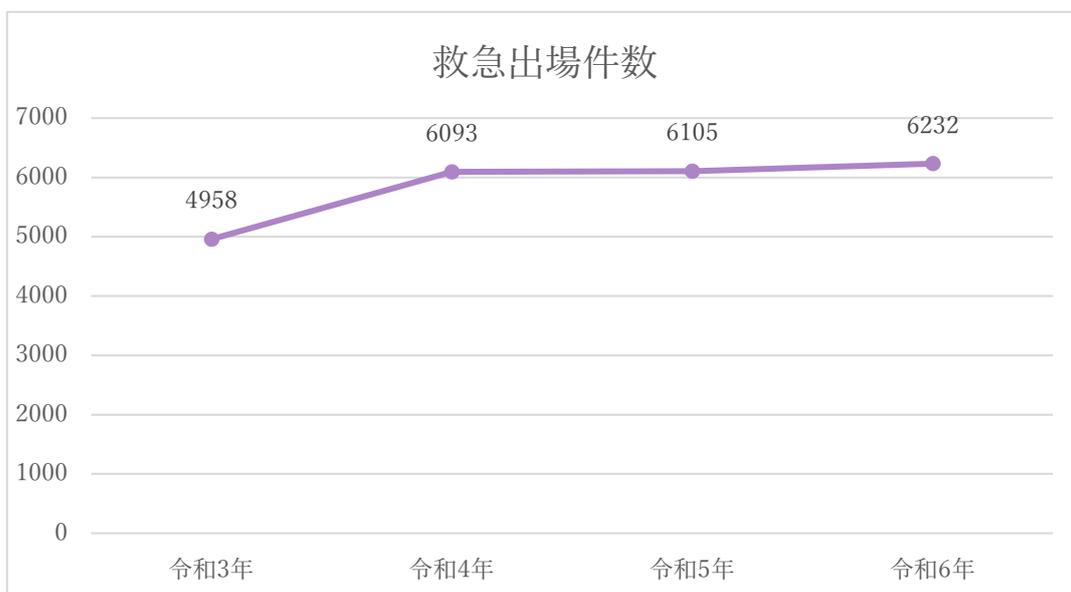


Q1 浦添市の令和6年中の救急出場件数は何件でしょうか？

正解：約 6200 件

解説：浦添市の救急出場件数は年々増加しており、令和6年は過去最高の 6232 件になりました。

しかし、救急需要は今後も増加することが予想されています。その対策として、令和7年の4月から日勤救急隊の運用を開始し、救急体制の強化を図りました。



Q2 救急車を運転する人は何と呼ばれるでしょうか？

正解：機関員

解説：救急車だけでなく、ポンプ車を運転する人も機関員と呼ばれます。

通常、救急隊は隊長、機関員、救急隊員の3名で編成されていて、救急車の運航中は、基本的に隊長は助手席、隊員は後部座席に乗車しています。



Q3 浦添市消防本部（出張所も含む）の救急車は全部で何台あるでしょうか？

正解：5台

解説：令和7年8月現在、浦添市消防本部の救急車は全部で5台あります。

消防署（前田）：救急1号、救急5号、救急6号

牧港出張所：救急2号

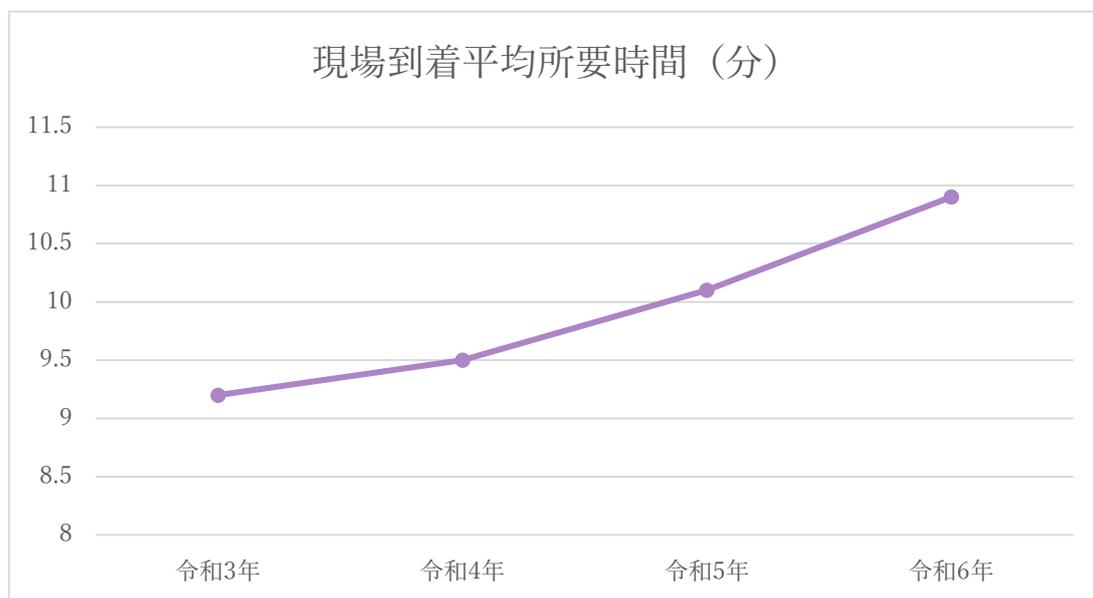
内間出張所：救急3号

となっていて、令和7年度中にもう1台追加配備する予定です。

Q4 浦添市城間で事故がおきたら、通常、一番に駆けつける救急隊はどれでしょうか？

正解：救急2号（牧港出張所）

解説：浦添市城間から最も近い消防署・出張所は牧港出張所なので、牧港出張所に配備されている救急2号が通常であれば一番に駆けつけます。しかし、牧港出張所の救急車が別の救急事案で出払っている場合は遠くの場所にいる、他の救急隊が現場に駆けつけます。そのため、現場まで到着する時間は長くなってしまいます。救急件数の増加に伴い、救急車の現場までの平均到着時間も年々延長しています。



Q5 道で倒れている人を見つけたら、最初にするべき行動は何ですか？

正解：周囲が安全か確認して、倒れている人に近づく

解説：倒れている人がいれば、近づいても大丈夫か周囲を確認してから、その人に近づいて呼びかけて下さい。そこで反応がなければAEDを取りに行ったり、胸骨圧迫をしたりします。

念をおくって倒れた人が起き上がれば、あなたはヒーラー（回復）タイプかもしれません。

Q6 救急車にある、人工呼吸をするための資機材の名前は何というのでしょうか？

正解：バックバルブマスク

解説：バックバルブマスクは呼吸が止まってしまった人、もしくは不安定な人に対して酸素を送り込む資機材で、3つの部品から構成されています。

バッグ：手で圧縮することで空気を送り込む部分

バルブ：換気時に空気を送り込む一方、吸い込み時は閉じ、過剰な圧力を防ぐ役割

マスク：鼻と口を覆い、患者の顔に密着させる部分

Q7 救急車を呼ぶかどうか迷ったとき、どの番号に電話すると相談できるのでしょうか？

正解：#7119

解説：救急車が必要かどうか、判断に迷ったとき、#7119に電話すると相談することができます。小児の場合は#8000に電話すると相談することができます。

ちなみに、①の「1260」はヴァンパイア数です。ヴァンパイア数とは、

数字を並び替えて2つの数字を作り、それらの積がもとの数字になる数の事です。

具体的には「1260」は1、2、6、0の4つの数字が使われており、それを並び

かえて作った数字21と60を掛け合わせると1260になるので、1260は

ヴァンパイア数ということになります。



Q8 写真の救急車は何号でしょうか？

正解：救急3号

解説：写真の救急車は内間出張所に配備されている救急3号です。救急3号は、車体に赤と青の市松模様があるのが特徴です。ちなみに、救急3号は2017年に運用が開始されていて、近年、市松模様が流行っていたからこのような仕様にした、という訳ではありません。

